

「富岡製糸場と絹産業遺産群」 世界遺産登録10周年記念扇子が完成しました

明治5年にフランス人指導者のもとで設立された富岡製糸場は、生糸出荷時の商標ラベルに扇形が使われていたなど「扇」と縁があります。そこで、登録10周年を記念して、フランス人間国宝の扇子アーティストに富岡シルクを使ったオリジナル「扇子」を制作していただきました。

完成した「扇子」のお披露目を富岡製糸場で行います。

1 記念扇子

＜扇子デザイン・制作者＞

シルヴァン・ル・グエン 氏

扇子アーティスト。ビンテージ扇の修復、和紙や絹を素材に立体的な作品を得意とし、2020年からは日本の技術と素材を取り入れた制作を行う。
京都在住、フランス人間国宝

＜プロデュース＞

新津保 朗子 氏

床下土風 代表。隈研吾建築都市設計事務所 企画室長



Copyright Sylvain Le Guen

2 展示

令和7年2月7日（金）午後から9日（日）まで

（会 場）富岡製糸場 西置繭所「多目的ホール」
（富岡シルク「手編みニット展」会場内）

令和7年2月14日（金）から26日（水）まで

（会 場）BankART KAIKO（横浜市中区北仲通5-57-2）
（展覧会）蚕から絹へ 一人と絹のこれまでとこれから—